

マスクROM番号	
----------	--

**ルネサスシングルチップ16ビットマイクロコンピュータ
M30803MG-XXXGP
マスク化確認書**

受 付 欄	年 月 日	
	課長印	担当者印

(注) 印をすべて御記入ください。

貴社 記入欄	貴社名	TEL () 殿	発行 印	責任者印	担当者印
	発行日			年 月 日	

1. 御確認表

発注される品種名および提出して頂くEPROM、またはFDKを指定ください。
EPROMで発注される場合は1パターン当たりEPROMが3セット必要です。
FDKで発注される場合1パターン当たりFDKが1枚必要になります。

EPROMの場合

当社では、提出頂いた3セットのEPROMの内、少なくとも2セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってマスク作成を行います。したがって、このデータと生産される製品に焼き付けられるROMデータが異なる場合のみ、当社はその責を負います。
提出頂くEPROMデータの内容は十分に御確認願います。

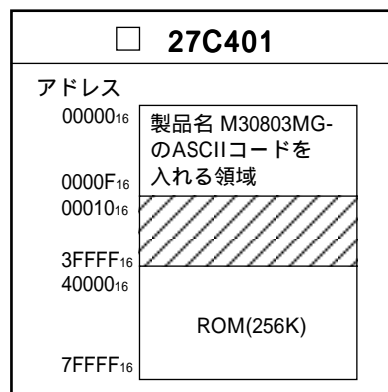
マイクロコンピュータ形名 M30803MG-XXXGP

EPROMの全領域のチェックサムコード

--	--	--	--

 (16進表示)

EPROMの種類



- (1) 斜線領域には“FF₁₆”を入れてください。
- (2) 0000₁₆ ~ 0000F₁₆番地は製品形名のデータ格納領域です。
‘M30803MG-’のASCIIコードを右記に示しますので、0000₁₆ ~ 0000F₁₆番地には必ず右記のデータを書き込んでください。
番地、データとも16進表記です。

アドレス	
0000 ₁₆	' M ' = 4D ₁₆
0001 ₁₆	' 3 ' = 33 ₁₆
0002 ₁₆	' 0 ' = 30 ₁₆
0003 ₁₆	' 8 ' = 38 ₁₆
0004 ₁₆	' 0 ' = 30 ₁₆
0005 ₁₆	' 3 ' = 33 ₁₆
0006 ₁₆	' M ' = 4D ₁₆
0007 ₁₆	' G ' = 47 ₁₆

アドレス	
0008 ₁₆	' - ' = 2D ₁₆
0009 ₁₆	FF ₁₆
000A ₁₆	FF ₁₆
000B ₁₆	FF ₁₆
000C ₁₆	FF ₁₆
000D ₁₆	FF ₁₆
000E ₁₆	FF ₁₆
000F ₁₆	FF ₁₆

マスクROM番号	
----------	--

**ルネサスシングルチップ16ビットマイクロコンピュータ
M30803MG-XXXGP
マスク化確認書**

アセンブラソースプログラムの先頭に、書き込むEPROMの種類別に下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROMの0000016～0000F16番地に形名のASCIIコードを書き込むことができますので御利用ください。

EPROMの種類	27C401
ソースプログラムへの記述	.SECTION ASCII CODE,ROM DATA .ORG 080000H .BYTE ' M30803MG- '

(注) EPROMに書き込まれた形名とマスク化確認書の形名が一致しない場合、ROM処理ができませんので正確をお願いします。

FDKの場合

当社では提出頂いたFDKのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティで生成されたマスクファイル処理してマスク化を行います。したがって、このマスクファイルと生産される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

FDKは3.5"2HD/IBMformatで用意してください。また、FDKに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

マイクロコンピュータ形名 M30803MG-XXXGP

ファイルコード

--	--	--	--	--	--	--	--

 (16進表示)

マスクファイル名

--	--	--	--	--	--	--	--

 .MSK(英数字8桁)

2. マーク指定

マーク指定はパッケージの形状により異なります。別紙のマーク指定書(パッケージ別)に御記入の上、本マスク化確認書に添付して御提出ください。

M30803MG-XXXGPの場合は100P6Qのマーク指定書を御提出ください。

3. 特記事項

